

CO₂削減の救世主！
カーボンニュートラルの達成へ
廃熱利用のススメ

～“もったいない”捨てている廃熱を有効利活用～

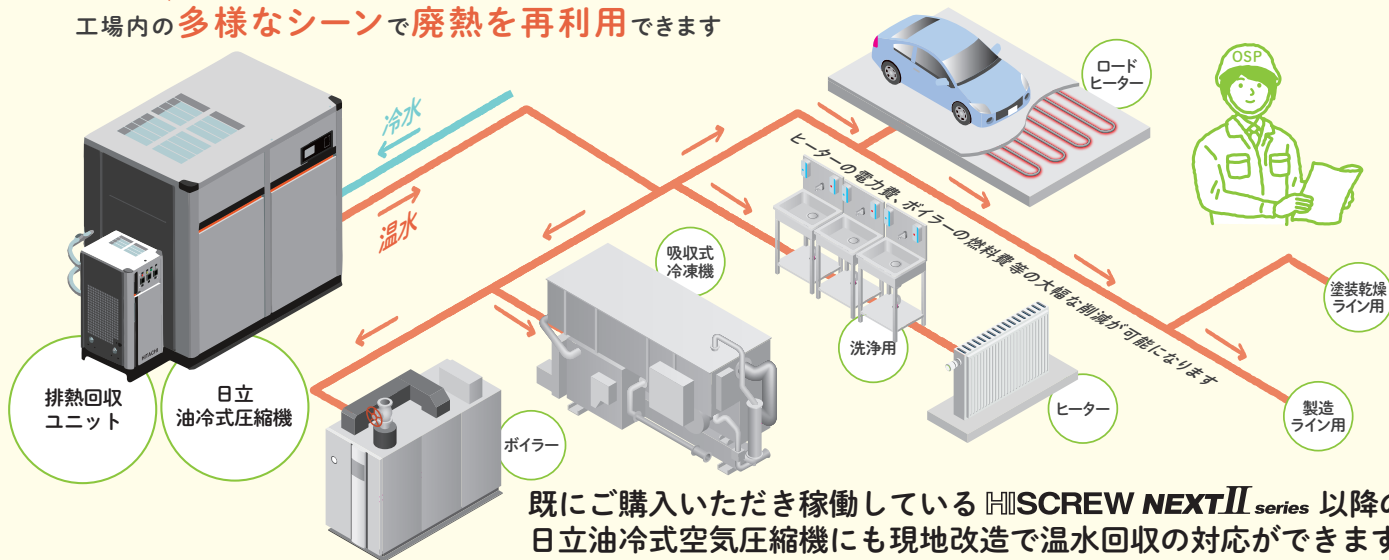


省スペース
既設圧縮機の隣に
ピッタリ設置可能

最大70°Cまで
温水を供給可能

ご存知ですか？

工場内の多様なシーンで廃熱を再利用できます



既にご購入いただき稼働している HISCREW NEXT II series 以降の日立油冷式空気圧縮機にも現地改造で温水回収の対応ができます。

suggestion:

日立からの廃熱利用のご提案です！

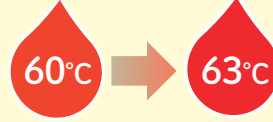
圧縮空気を作りながら 圧縮熱を温水として回収し再利用できます！



ボイラー給水の予熱に



ヒーター代替として水の再加熱や保温に



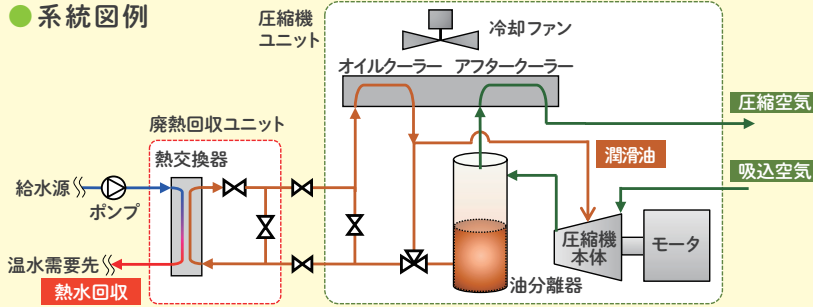
CO₂削減効果 年間約56t
年間ガス料金削減 約204万円

CO₂削減効果 年間約15t
年間電気料金削減 約113万円

給水温度 (°C)	出湯温度 (°C)	回収熱量 (MJ/h)	回収熱量 (kWh)	CO ₂ 排出削減量 (t-CO ₂ /年)	削減ガス料金 (万円/年)	削減電気料金 (万円/年)	給水量 (L/min)
30	43	160.9	44.7	56	204	-	49.0
60	63	45.5	12.6	15	-	113	58.0

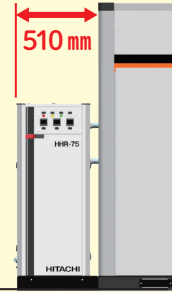
<試算条件> 適用圧縮機：OSP-75M6AN3 吐出圧力：0.7MPa 負荷率100% 年間稼働時間：6000時間 電力単価：15円/kWh CO₂排出係数(電気)：0.057t-CO₂/GJ
ガス13A基準単位料金の通年平均値：82.4円/m³ ガス13A発熱量：40.6MJ/m³N CO₂排出係数(ガス13A)：0.00229t-CO₂/m³N ボイラー効率：96%
※上記試算結果は計算値です。また、温水回収温度、システムによって削減効果は異なります。

● 系統図例



● 設置例

OSP圧縮機左側に
ピッタリ設置
できます！※



※圧縮機にピッタリ設置するには条件があります。詳細は図面等をご参照ください。

項目・単位	型式	HHR-75 ※1
適用圧縮機出力範囲	kW	75
入口温水温度	°C	10～圧縮機の吐出空気温度以下
出口温水温度 ※2 ※3	°C	最大70
許容量範囲	L/min	49～103
仕様周囲温度	°C	大気圧・2～45
水接続管径	—	Rc 1-1/4
電源電圧 (50/60Hz) ※4	V	200/200・220
外形寸法 (幅×奥行×高さ) ※5	mm	510×550×1,170
概略質量	kg	90

※1 圧縮機は付属しません。また、接続可能な圧縮機の型式に一部制限がありますので、詳細はお客様担当営業窓口にお問い合わせください。
※2 周囲温度や給水温度によっては、出口温水温度はこの温度を超える場合があります。詳細は熱回収特性図を参照ください。
※3 出口温水温度の調整機能はありませんので、必要な場合はお客様にてご用意ください。
※4 圧縮機始動盤内から給電します。接続する圧縮機の電源仕様によって異なる場合があります。 ※5 突起部は含まれません。

詳細はWebへ

<https://www.hitachi-ies.co.jp>

日立産機 お問い合わせ



⚠ 安全に関するご注意

■ 廃熱回収ユニットの適用対象となる日立油冷式空気圧縮機について

- 本廃熱回収ユニットはHISCREW NEXTII series 以降の製品にのみ適用可能です。また、適用可能な圧縮機型式に制限がありますので、詳細はお問い合わせください。
- 本廃熱回収ユニットから供給される温水を直接飲用したり、食器・食品に触れたりする用途に使用しないでください。また、給湯用途(風呂、シャワー、手洗い、その他水道水以上の水質維持が必要な場合等)に使われる場合は、別の熱交換器を用意いただき、本廃熱回収装置の温水で給湯用水を間接的に加熱するシステムとしてください。

■ 据え付け場所に関して

- 本圧縮機は屋内に据え付けてください。雨や蒸気などの水分のかかる場所では使用しないでください。(火災・感電・各部の発錆・寿命低下の原因となります。)
- 近くに爆発性・引火性ガス(アセチレン・プロパンガスなど)・有機溶剤・爆発性粉じんおよび火気のない場所で使用してください。(火災・事故の原因となります。)
- アンモニア・酸・鉄分・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。(発錆・寿命低下・破損の原因となります。)

■ ご使用に際して

- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- このカタログは、日本国内でご使用になる製品について記載してあります。
- 製品の改造および部品の改造は絶対にしないでください。(破損・故障の原因となります。)

株式会社 日立産機システム

お問い合わせ営業窓口

北海道支社 (011)611-1224 東北支社 (022)364-2710 関東地区 (03)6271-7106 北陸支社 (076)420-5711 中部支社 (052)884-5822
関西支社 (06)4868-1226 中国支社 (082)282-0165 四国支社 (087)882-1192 九州支社 (092)651-0141

●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

MSM-J004A

2023.7

Printed in Japan(D)